

長かった休業期間を乗り越えて、ついに通常授業の日を迎える事になりました。

振り返った時に、皆さんの心に様々な記憶が蘇る、大きな出来事だったに違いありません。この期間をどのように過ごしたか？どんなことを考えたか？

そして、新たなステージを迎え、新しい生活様式の中で本当の意味での令和2年度が開始します。今回の経験により、一回り大きくなった皆さんの姿を見せて欲しいと期待しています。さて、通常に戻ることにになりましたので、校長からの挑戦も今回を最後にします。今回は「手紙」です。

Q1 世界で一番短い手紙

フランスのユーゴーが書いた有名な小説「レ・ミゼラブル」。日本でもミュージカルになりましたね。出版当時、その売れ行きを心配したユーゴーが出した世界一短い手紙は「？」でした。

では、ベストセラーであることを伝えた、出版社からの世界一短い返事は・・・

Q2 兼好法師が、手紙で友人にあるお願いをしましたが、中身は次の和歌だけ・・・

〔和歌〕

夜も涼し

夜の涼しさに

寝覚めのかりほ

目を覚ましたこの貧しい家

た枕も

腕枕をした

真袖も秋に

袖の間から秋の

へだてなき風

さえぎるものなく冷たい風が吹き込んできました

それに対して友人の返事も次の和歌だけ・・・

〔和歌〕

夜もうし

秋の夜は長くつらい

ねたく我が背子

くやしいけれどあなたは

果ては来す

ついにやってこない

なおさりにだに

少しでもよいから

しばしとひませ

訪ねてきてほしい

さて、兼好法師のお願いは？ また、友人は何と返事したのでしょうか。

(ヒント 各行の最初と最後の文字に注目)

Q3 まだEメールがない時代、海外からの緊急連絡には電報が使われていました。当時の電

報はすべてカタカナで書かれ、大変わかりにくいものでした。

ある企業に、海外支社から「ビジンシンニュー キカイトマル」という緊急の連絡が入ったのです。連絡を受けた企業では、事態が把握できず対応に困ってしまいました。

そんな時に、1人の社員が「！」とひらめき、事態は収集されたのです。

いったい何が起こったのでしょうか。そして企業が行った対応策は？

(ヒント ビジンの漢字変換)